

下山静香 30 周年リサイタル報告

2025.12.4 榎本 記

下山静香30周年リサイタルが12月4日（木）渋谷のHakuju Hallにおいて開催されました。下山静香は桐朋学園大学を卒業。同室内楽研究科修了。99年、文化庁派遣芸術家外研修員としてマドリードへ。故 R.M クチャルスキ、M.サバレタのもとで研鑽スペイン音楽研究を深める。

シニアクラブでは（おんがく×ブンガク）の企画で何度かコンサートを実施しており、今回は会員9名が参加しました。



** PROGRAM **

ヴァレンティン・シルベストロフ：使者-1996
ヨハン・セバスティアン・バッハ：パルティーナ 第2番
ガブリエル・フォーレ：ノクテュルヌ 第6番
伊佐治 直：虹の定理
マヌエル・デ・ファリア：4つのスペイン小曲
アルテウーロ・マルケス：ダンソン NO. 2



下山静香デビュー30周年リサイタルのご案内

令和7年 11月吉日

事務局長 田代 周

企画担当 榎本享二

「おんがく×ブンガク」コンサートでお馴染みの下山静香のデビュー30周年コンサートが開催されます。シニアクラブ会員の皆様のご参加をお待ちしています。

記

- ・実施日時：12月4日（木）19時開演
- ・参加費：3000円（シニアクラブより500円補助）
- ・会場：**HAKUJU HALL** https://hakujuhall.jp/pages/access_index?lang=ja
- ・プログラム：ヴァレンティン・シルヴェストロフ：使者-1996
ヨハン・セバスティアン・バッハ：パルティーナ第2番
ガブリエル・フォーレ：ノクテュルス第6番
伊佐治直：虹の定理
マスエル・デ・ファリア：4つのスペインの小品
マルトゥーロ・マルケス：ダンソンNo. 2

Shizuka Shimoyama Piano Recital

下山静香
Messenger

Program
ヴァレンティン・シルヴェストロフ：使者-1996
Valentin Silvestrov: The Messenger - 1996
ヨハン・セバスティアン・バッハ：パルティーナ 第2番
Johann Sebastian Bach: Partita No.2
ガブリエル・フォーレ：ノクテュルス 第6番
Gabriel Faure: Nocturne No.6
伊佐治直：虹の定理
Isamu Inoue: Torii del arco-iris
マスエル・デ・ファリア：4つのスペインの小品
Manuel de Falla: Cuatro piezas españolas
アルトゥーロ・マルケス：ダンソン No.2
Arturo Márquez: Danzón No.2 (Luz, la Lluvia, la Esperanza, la Vida)

2025年12月4日 19:00開演 (18:30開場)
会場 HAKUJU HALL
Ticket 一般 前売 ¥1,000 当日 ¥1,500
ト山静香後援会グラシア会員 ¥3,700 (税込 ¥4,000)
学生 ¥2,000
Pcality: <https://hakujuhall.jp/pclality/>

主催：Mess GRACIA / ユー・エス・エス・エス
後援：シニア・クラブ・アカデミー・東京、日本シニア・クラブ・アカデミー
一般社団法人 シニア・クラブ・アカデミー・東京
公衆衛生機構 認可第1号

HAKUJU HALL

〒151-0063

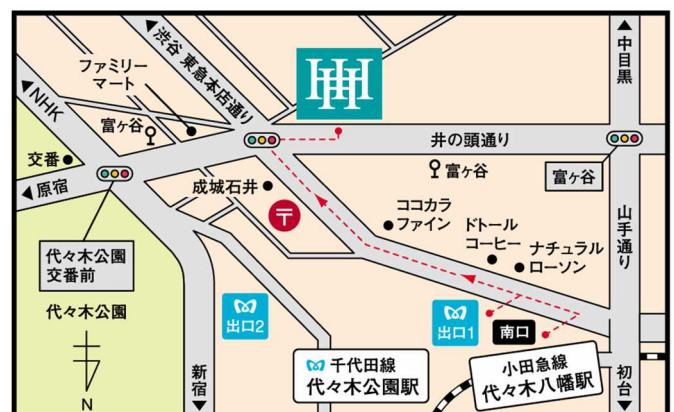
東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5

(株)白寿生科学研究所

本社ビル 7F

Tel 03-5478-8867

Fax 03-5478-9821



- ・参加申し込み（締め切り：11月23日）
田代 周 090-6147-0946 shu.wga@ac.auone-net.jp
榎本 享二 080-1084-6421 kyoji-enomoto@jcom.home.ne.jp

下山静香リサイタルデビュー30周年

——呼び覚まし、そして解き放つ「いま、弾きたい 伝えたい音楽」——

いま、ほんとうに弾きたい音楽——それは、このタイミングだからこそ自然に浮かびあがってきてくれたような気がします。子供の頃、「私」が今ここに存在しているという神秘を感じさせてくれたバッハ。フランス音楽に深く入っていった時期、自分の奥底に棲むなにかと響きあったフォーレ。ファリャは、人生の転機となった“第二の故郷”スペインの革新的作曲家。そして、スペインを経たことで目の前に広がったラテンアメリカの音楽からは、現代メキシコのマルケス。同時代からはさらに、自身の音楽は「既存の音楽への反応、反響」だと語るウクライナの作曲家シルヴェストロフ、私と同世代のユニークな作曲家・伊左治直の音楽世界を響かせたいと願っています。

一期一会の音楽で、現在と過去、「世界」と「個」をつなぐように…ことばにならないメッセージをお届けできますなら、それ以上の喜びはありません。下山静香



© Hiroshi Makino

下山静香 ピアノ

Shizuka Shimoyama Piano

桐朋学園大学卒業。同室内楽研究科修了。99年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてマドリッドへ。故R.M.クチャルスキ、M.サバレタのもとで研鑽。その後バルセロナのマーシャル音楽院にて、C.ガリガ、故C.ブラーゴ(モンボウ夫人)、故A.テラローチャのもとでスペイン音楽研究を深める。スペイン各地、清里スペイン音楽祭ほかにも招かれリサイタルを行う。

これまでNHKスペシャルやドラマ、美術展などにおいてピアノ演奏を数多く担当。NHK-FM「土曜リサイタル」「名曲リサイタル」、NHK-TV「首都圏ネットワーク」、NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」、NHK-BS「びあひのピアノ」、NHK-Eテレ「らららクラシック」、TBS-BS「本と出会う」、フランス国営放送ラジオなどに出演。

通常のコンサート活動のほか、(ラテンアメリカに魅せられて)(音楽×美術)(おんがく×ブンガク)などのシリーズを企画・出演。(ラテンアメリカに魅せられて)では、クラシックの知られざる宝庫ラテンアメリカに焦点をあて、タンゴ、ジャズ、フォルクローレとのコラボレーションなども行い新たな地平を広げた。(おんがく×ブンガク)では、毎回テーマ作家を設定し、音楽演奏にとどまらない自由な発想で作品世界へのアプローチを試みている。

室内楽も重要な活動軸とし、これまでウィーン・ヴィルトゥオーゾ、チェコフィル六重奏団、M.ホッセン、R.シメオ、V.スンをはじめとする楽日アーティストと共演。東京で「スペイン・ラテンアメリカ室内楽シリーズ」、桐生で「コレ推し! 室内楽」などのシリーズを主宰。

現在、ピアニストとして精力的な演奏活動を展開するかたわら、執筆、翻訳、講演、講座…とマルチに活動。2021年、江戸川乱歩作品で朗読デビュー。CDはソロで14枚(「レコード芸術」特選盤5枚・準特選盤5枚、タワーレコード月間推薦盤、読売新聞推薦盤ほか)、Va.寺島貴恵とのユニット「デュオ・ア・ニミス」として2枚をリリース。単著「まるごと1冊スペイン音楽の本」(アルテスパブリッシング)、「裸足のピアニスト」(ヤマハミュージックメディア)、訳書「モーツァルトとコーヒータイム」(三元社)、「サンティアゴ巡礼の歴史」(原書房)。ほか共著書籍多数。東京新聞で「おんがく×ブンガク」隔週連載中。校訂・解説楽譜「アルベニス スペイン組曲」(音楽之友社)ほか。桐朋学園大学、東京大学非常勤講師。PTNA正会員。日本スペインピアノ音楽学会会長。桐生ふるさと大使。

オンラインチケット取り扱い: Peatix
<https://shizukapiano.peatix.com>



お問合せ・チケットお申込: ミューズ・グラシア
musegracia.ss@gmail.com

下山静香HP内
お問い合わせフォーム(Contact me)より
<https://shizukashimoyama.com>



下山静香LINE公式
お友達登録QRコード



HAKUJU HALL(ハクジュホール)

東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5
(株)白寿生科学研究所 本社ビル7F

千代田線「代々木公園駅」出口より徒歩5分
小田急線「代々木八幡駅」南口より徒歩5分

